



2018年度

予算要望書

11月1日の「平成30年度予算編成方針 習志野市長宮本泰介」を受けて、同17日、新社会党・無所属の会は「予算編成に関する要望書」を市長に提出しました。

まず、市長の予算編成方針の概要をご紹介します。

予算編成の基本方針

平成30年度は、大久保こども園、学校給食センター、第二中学校体育館や中央消防署谷津出張所の竣工、さらに大久保地区公共施設再生事業や谷津小学校建替工事の着工など、公共施設再生計画第一期の取組を加速させるとともに、前期基本計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた各種施策の確実な達成に向け、取組んでいく。

よって、以下の項目を重点項目とする。

- ・子どもが健やかに育つ環境の整備を推進すること
- ・未来をひらく教育と生涯にわたる学びを推進すること
- ・誰もが健康を維持できる保健・医療・福祉を充実すること
- ・公共施設総合管理計画に基づき、インフラ・プラントを含めた公共施設の再生、

くらしを支える都市基盤の整備を推進すること

- ・財政健全化を推進すること

2018 予算編成に関する要望書

市長の予算編成方針を受けて、新社会党・無所属の会は「要望書」を提出しました。昨年も約160項目にわたって要望を提出しましたが、そのうち実現された項目等を整理し、新たに19項目を付け加えました。ご報告します。

◎市民のくらしを守るために

- ・防災無線の難聴地域の改善を図ること
- ・公共施設における自動販売機の物の販売価格を値下げすること
- ・市長は、市議会の委員会開催時に、待機し万全の体制を取ること
- ・職員の配置転換については、市民サービスの観点から、短期間では行わないこと

◎お年寄りの幸せのために

- ・高齢者が、地域で自主的に認知症予防などの活動をしているが、それらの活動に対して助成金などの支援体制を充実すること
- ・後期高齢者の健康診査については、受診率を上げるために検診方法・期間等の改善を図ること
- ・シルバー人材センターへの補助金の増額を図ること

◎母と子どもたちの幸せのために

- ・新設される仮称「香澄こども園」において0～2歳児の保育を充実すること。同こども園の全体計画も早急に示すこと
- ・2017年度当初は保育所の待機児童が338名いたので、新年度においても保育所の待機児童が発生しないように、施設の充実など改善を図ること
- ・子ども食堂の財政的支援として、「ふるさと納税」で子ども食堂に寄付をすることができる「ふるさとチョイス」を創設すること
- ・小学校において外国籍の児童が増加しているが、外国籍の児童が日本語を習得したり、日本の文化に慣れるためのプログラムを充実すること

◎住みよい街づくりのために

- ・特定空家等の認定を急いで、近隣への迷惑や危険な状態を解消するように対策を進めること
- ・袖ヶ浦団地の建替え等の再生計画は、事業者任せきりにせず、URに対して働きかけること
- ・袖ヶ浦団地内の道路の修復工事を急ぐこと



- ・入札の競争性を高めるため、1者入札の中止をすること

◎子ども達の教育を充実させるため

- ・市立幼稚園（こども園の短時間保育児）の3歳児保育を早急を実施すること
- ・学校教育現場において、プリント作成などの業務サポートをする人員を確保し、教職員の労働の軽減を図ること
- ・義務教育の現場にソーシャルワーカーを配置すること

これらの項目を新たに加えて、市民の皆さんが心身ともに健やかに暮らせるよう要望しました。

レインボーフェスティバル 2017 習志野文化ホール

11月19日（日）、習志野文化ホールで、「レインボーフェスティバル 2017」が開催されました。障がい者を支援する「NPO 法人希望の虹」の創設10周年を記念するものです。

施設を利用する障がい者の皆さんが太鼓演奏やダンスなどの日頃の活動の成果を披露してくださいました。習志野地区の利用者だけでなく、豊四季・増尾・北柏地区の皆さんの発表もありました。

また、日頃指導に当たっている先生方やゲスト出演者とのコラボレーションにより、明るく楽しい素晴らしい演奏を見せていただき、私も本当に楽しく素敵な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。